

# 厳しい時にしつかり販売活動

例年、同ショーに出展する和信ペイント。昨年の2・8倍の来場者を集めた同ショーで、ワークショップの開催やDIY関連商品の展示で会場を盛り上げた。その展示方法、イベント企画等も群を抜いた展開となった。また同ショーで行われた新商品コンテストで同社の「フローリングコート」が金賞を受賞した。今後のDIY市場がどうなっていくのか、同社の瀬川社長に自社の現状や取り組みについて聞いた。

## Interview



和信ペイント

代表取締役社長

瀬川 義浩氏

解禁されていく中で、ワークショップや実演も含めて積極的に展開していきます。ホームセンターショーでのワークショップについてもDIYを広げるための大きなイベントとして考えています。現状が落ち着いてきていくという状況がわかりました。今後どのような急には回復してこないでしょう。ただ悲観的に見る必要はないと思います。フローリング材は日本の住宅で主流となっている床材です。何層かの貼り合わせた木材に表面が化粧処理された突き板が主流になりつつあります。表面が天然木であれば塗料は問題なく塗れるので、表面がフィルムであるとうまく密着しませんが、最近ではフィルムが貼ってあるものが多いです。これまでは、近年は木目状のフィルムが貼ってあるものが主流になりつつあります。フローリング材は日本の住宅で主流となっている床材です。何層かの貼り合わせた木材に表面が化粧処理された突き板が主流になりつつあります。表面が天然木であれば塗料は問題なく塗れるので、表面がフィルムであるとうまく密着しませんが、最近ではフィルムが貼ってあるものが多いです。これまでは、近年は木目状のフィルムが貼ってあるものが主流になりつつあります。

— 現状はいかがですか。DIY業界の状況と併せてお願いします。  
 から、レジャー産業への比重が大きくなり、今年DIY業界の状況と併せてはさらにその傾向が強くなっています。合わせて、相次ぐ原材料資材の値上げが必要という大きな波がきています。価格については値上げをさせていただきましたが、木材を中心とした材料についても全体的に落ちついてきている状況です。ただ店舗によっては、もう少し時間が必要かと思われま。昨年、一般の方々にDIYを良く知ってもらうために勉強会を開催したといったお話があったと思います。コロナ禍で大勢を集めるの勉強会は実現出来ていませんでした。今後は着していく活動が必要と

## 市場の変化に合わせ製品開発



ワークショップを中心にブース展開



— 今回のフローリングコートとその他の商品戦略について教えてください。  
 考えます。今回のフローリングコートとその他の商品戦略について教えてください。フローリング材は日本の住宅で主流となっている床材です。何層かの貼り合わせた木材に表面が化粧処理された突き板が主流になりつつあります。表面が天然木であれば塗料は問題なく塗れるので、表面がフィルムであるとうまく密着しませんが、最近ではフィルムが貼ってあるものが多いです。これまでは、近年は木目状のフィルムが貼ってあるものが主流になりつつあります。フローリング材は日本の住宅で主流となっている床材です。何層かの貼り合わせた木材に表面が化粧処理された突き板が主流になりつつあります。表面が天然木であれば塗料は問題なく塗れるので、表面がフィルムであるとうまく密着しませんが、最近ではフィルムが貼ってあるものが多いです。これまでは、近年は木目状のフィルムが貼ってあるものが主流になりつつあります。